

# ジャンボタニシに全集中！

～マイナスからプラスへの挑戦～

## 倉敷市

# 地域概要



data:

## 瀬戸内の おだやかな気候に めぐまれた街、倉敷。

人口 **483,970人** (平成27年12月末時点)

岡山県で2番目に人口の多い都市。中国地方で  
広島市、岡山市に次ぐ3番目の人口規模。

気温 **15.4℃** (平成26年年間平均)

気象 降水量1mm未満の日 **277日**  
【昭和56年～平成22年の平均値(岡山県)】



年間約500万人の観光客が訪問

## 農林水産業分野 (第1次産業に従事する就業人口は約2%)

ぶどう生産



マスカットオブ  
アレキサンドリア (加温)

全国 **第1位**

桃生産



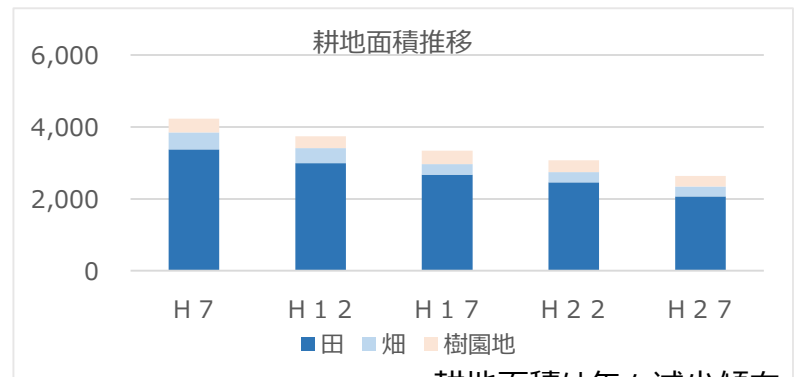
清水白桃

全国 **第2位**



ピオーネ

全国 **有数**



耕地面積は年々減少傾向...

# 外来種（ジャンボタニシ）による水田環境の悪化

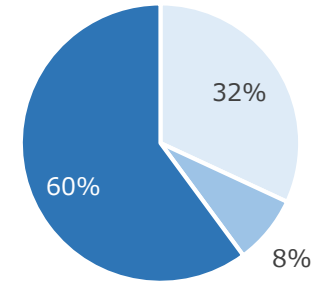
## （水田環境）

- 水田農業は兼業が主体で農地集積も21%と全国平均57%と比べても非常に低い。
- 効率的とはいええない状況下で多くの農家が従来の水田環境を守っている。

## （ジャンボタニシの影響）

- 田植え後の苗をジャンボタニシが食べることで、十分に稲が育たない。
- ジャンボタニシが水田や用水路に多くの赤い卵を産み、農村景観が悪化。
- 駆除したジャンボタニシを各農家が廃棄処理。

専兼業別



■ 専業農家 ■ 第1種兼業農家 ■ 第2種兼業農家

ジャンボタニシの被害がこのまま進んでいくと・・・

稲作被害による収入の低下

農家の生産意欲の低下

担い手もジャンボタニシが発生する水田は借りたくない

耕作放棄地が増加する恐れ



卵(景観悪化)



食害状況

# 外来種（ジャンボタニシ）の駆除・活用

○ジャンボタニシを地域資源とし、マイナスからプラスの価値を生み出せないか！  
**食用、肥料、魚のエサetc**

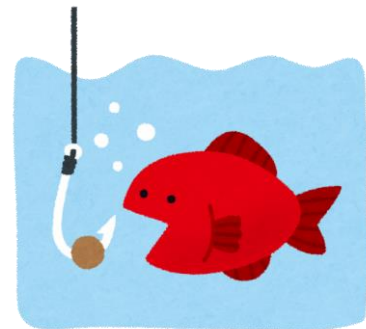
○ジャンボタニシの駆除・活用により農村地域の共同活動も活性化する可能も。

○ジャンボタニシの問題は、倉敷市の問題だけでなく、温暖化が進めば、今後影響範囲は更に拡大する恐れ、画期的な有効活用方法が見つければ、**全国展開も可能**



## 求む！

加工する技術を持つ人orネットワークを持った人



# 支援体制

## 地域資源確保

- 地域資源（ジャンボタニシ）は豊富に存在  
地域の農業者と連携し、  
ジャンボタニシ捕獲隊の設置・捕獲大作戦の実施



捕獲状況



捕獲後

## 生活基盤

- ・商業施設複数立地（中四国最大規模のアウトレット等）
- ・賃貸住宅の相場は、東京の50%～60%
- ・新幹線、高速道路が横断する交通の利便性
- ・一般病床が1,000を超える大規模病院複数立地



アウトレットモール



商店街

## 資金面

- ・起業に対して、最大300万円の支援金あり  
（市の移住担当窓口で相談支援あり）
- ・クラウドファンディングでの資金調達
- ・多面的機能支払交付金の活用



倉敷市移住定住ポータルサイト

## 移住に関する支援

- 移居前
  - ・移住相談会を年に数回実施（オンライン上でも可）
  - ・移住体験ツアーの実施
  - ・市内ご案内サービス
  - ・お試し住宅支援制度あり
- 移住後
  - ・移住者交流会の実施



移住者交流会



移住ツアー